

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	法人データベース閲覧システム
発注課	総務局東京事務所シティセールス担当課
選定事業者	ユーソナー株式会社
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。） 本件システムの利用は、日本国内法人データベースから札幌市への誘致対象となる企業情報を抽出し、誘致活動を最大化・効率化することを目的としている。 ユーソナー株式会社が所有するデータベースLBC(Linkage Business Code)は、国内に現存している法人全1250万拠点を網羅しているほか、財務省における国内企業情報把握や経済産業省の統計調査に活用されるなど信頼性の高いデータベースである。同社のデータベースを活用したシステム「プランソナー」及び「ガイドソナー」は、それらの企業情報が即時閲覧できるほか、札幌市の誘致ターゲットに条件の合った企業の抽出や、反社会的勢力との繋がりや事件への関与の疑いがある企業、行政処分を受けている企業を把握できるなど、本市の誘致活動促進に必要な機能を兼ね備えている。 さらに、企業誘致活動を効率化するためには、多くの法人データの中から特に地方進出や移転に興味のある企業を絞り込む必要があるが、同社のシステムは任意に指定したキーワードに興味を持つ企業を推測・リスト化できる機能を有している。 インターネット上での興味関心を拾うための仕組みとしてCookie（サイトにアクセスの際に個人情報と保存する仕組み）があるが、Cookieはプライバシーに密接に関連するトラッキング技術であるため、個人情報保護を確保する観点では慎重な取り扱いが求められる。一方で同社の提供する仕組みではCookieを利用せずに、IPアドレスを活用してウェブ行動履歴と企業属性を解析し、特定のキーワードに興味関心がある企業を推定することができる。 国内全1250万拠点の法人データを網羅し、かつ、本市が企業誘致に必要とする上記抽出機能を兼ね備える者は現時点でユーソナー株式会社しかいない。 以上のことから、すべての条件を満たすものが1者に特定されることから、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づき、提供可能な唯一の事業者としてユーソナー株式会社を特定随意契約の見積者とする。	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号